

「連合艦隊」に続いて東宝が総力をあげて贈る— 8.15シリーズ!

ああ、日本が飛んでいる。

無敵の悪魔が2年間
悲劇の舞台に2年間
零戦が日本だった時代—
大空は揺れ動いていた

零戦燃ゆ



製作 ■ 田中友幸
原作 ■ 柳田邦男
(週刊文春連載より)
脚本 ■ 笠原和夫
監督 ■ 舛田利雄
特技監督 ■ 川北紘一
製作・配給 ■ 東宝株式会社



加山 雄三
堤 大二郎
早見 優
橋爪 淳
あおい 輝彦
目黒 祐樹
大門 正明
加藤 武
南田 洋子
北大路 欣也
(特別出演)
丹波 哲郎

8月11日(土)公開

¥1,200(当日1,500円の処)

千代田劇場

渋谷宝塚

上野東宝

新宿東宝ビルレジ1

新宿コマ東宝

池袋東宝

江東劇場

浅草東宝

蒲田宝塚

吉祥寺東宝

八王子東宝

横浜東宝シネマ1

相鉄東宝

川崎グランド4

大宮東宝白鳥座

千葉竹沢東宝

浦和ヴェルテ東宝

解説

総生産数一〇、四三〇機、世界の名機「零戦」の生産は、華麗であり、またその最後は悲愴でさえあった

『零戦燃ゆ』は、太平洋戦争当時、世界の傑作機と呼ばれた零戦を中心に、その製作に従事した優秀な技術者と、零戦と共に遙か大空に散っていった多くの若者の、生きざまを描いた壮大に

物語

昭和14年。海兵団を逃走した浜田正一と水島国夫は、横須賀航空隊の下川大尉と、追浜飛行場の格納庫で対峙していた。突然明かりがつき、燦然と輝く戦闘機が出現した。優れた性能と縦横無尽の戦いぶりで、世界の空を制した零式艦上戦闘機・零戦の勇姿である。

このとき二人の運命は、定められた。二年の月日が過ぎ、航空兵として横須賀に戻った浜田は、整備兵の水島と共に、自信に満ちた顔で下川大尉に面した。下川は、事故の究明のために、テスト飛行をするところだったが、浜田との再会を喜んだ。

激しいテスト飛行中に、突然機体は墜落して、下川はそのまま殉職してしまふ。事故原因をつきとめた設計者堀越と、曾根は小福田大尉、浜田、水島と共に、下川の冥福を祈り、零戦にかける情熱を確かめあう。

して悲壮なドラマである。

この映画は、週刊文春連載中の、柳田邦男の同名原作の映画化であり、81年の『連合艦隊』に続く、東宝が総力をあげて製作する「8・15シリーズ」の超大作である。

製作者田中友幸は、テーマを「将来の平和」に置き、日本人と戦争の関係を見つめ直し、日本の平和を新たに考えていくなかで、映画としての醍醐味を描き出そうとしている。

同年12月8日、台湾高尾基地から出撃した浜田たちの零戦編隊は、五〇〇

裡を超えて、フィリピンの米空軍基地を奇襲し、大戦果をあげた。東南アジアの米空軍は一日で潰滅し日本は制空権を完全に握った。また零戦は、「ゼロファイター」として内外に知れ渡り、恐怖の的となったのである。

開戦以来破竹の快速進撃を続ける日本軍は、半年にして北はアリユーションから南はソロモン海域、西はビルマから東は中部太平洋にわたる広大な地域を勢力下におさめていった。

この間浜田は、連合軍の戦闘機を、零戦自慢の20ミリ機銃で次々と撃墜していった。

翌年6月5日、ミッドウェイで連合艦隊が大敗し、歴戦の零戦搭乗員の大半を失なうという一大転機を、海軍はむかえる。

負傷で帰国した水島は、名古屋で友人の静子に再び出会い、ほのかな恋心を抱く。

その頃ラバールの浜田も又、新鋭機

出演は、8・15シリーズにふさわしく多彩で重厚なベテランから、新鮮な若手スターまで勢揃いするオールスター・キャスト。そしてもう一人の中心的主役、日本が誇る「零戦」。三菱金属で七千万円を投入して復元された、映画史上最高にして最大の「零戦」が、空前のスケールで、凄絶な戦闘シーンを展開する。外田利雄監督を中心に、東宝のベスト・スタッフが製作にあたっている。

F4Uとの対戦で負傷した。

山深い郷里に帰ってきた浜田は、二度と零戦に乘れない身体になっていた。久しぶりに出会う息子にやさしい言葉をかけるイネ。

結局母の熱い情も、浜田の零戦に対する執念を鎮めることはできなかった。搭乗員試験を無理に受ける浜田。その姿を見た水島は、彼の決意を変えさせるべく、最愛の静子に、浜田との結婚を納得させたのだが。

とうとう零戦を上まわる戦闘機が登場した。グラマンヘルキャットだ。

零戦に残された途は、特攻機として砕け散ることしかなかった。そして零戦のいなくなった日本を、世界最大最強の重爆撃機B29が連日襲いかかってきた。あの静子までが

彼女の死を水島からの手紙で知った浜田は、B29を求め、決意を胸に、ただ一機で、最後の出撃に発進するのだ……



キャスト

スタッフ

製作	田中友幸
原作	柳田邦男
脚本	立原和夫
監督	外田利雄
撮影	川北紘一
美術	西垣六郎
録音	宮内重一
照明	内一男
音楽	葉木原毅
下川万兵衛大尉・実験部主務	加山雄三
小福田大尉の少佐飛行隊長	あおい輝彦
宮野善次郎大尉・飛行隊長	目黒祐樹
浜田正一(海軍航空兵の少尉)堤大二郎	
水島国夫(海軍航空兵の上等曹長)	橋爪優
吉川静子(女店員)	早見優
宇垣(連合艦隊参謀長)	加藤武
小沢治三郎(第三艦隊長官)	青木義朗
曾根(嘉年同設計課副主務)	大門正明
森崎(中尉・長官機護衛隊長)	おりも政夫
辻野上(一飛曹・長官機護衛隊長)	福田浩
航空技術官	中山昭二
航空技術官	森次晃嗣
航空技術官	御木本伸介
軍令部参謀	神山繁
軍医	佐藤允
喜代(おでん屋女将)	真木洋子
マカサー(極東陸軍司令官)	ワリアムロス
サイリンド(極東陸軍参謀長)	ジャック・テリス
ブリー(極東陸軍司令官)	スティーヴ・ブローカー
P40編隊長	チャリィ・フタナ
通信官直将校	レオ・メンゲッティ
浜田イネ	南田洋子
堀越二郎(三菱重工設計主務)	北大路欣也
山本五十六(連合艦隊長官)	丹波哲郎